

令和3年お茶づくり技術情報 (No.8)

2021年9月17日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 今後の管理

本年は、8月の日照不足で秋芽の生育不足園が散見される。さらに、豪雨・長雨により病害の発生が懸念されるため、特に防除を確実にを行う。また、今後の気象予報は高温傾向であり、再萌芽の可能性も高くなるため、秋整枝の時期は気象状況に注意して決定する。

1) 秋整枝

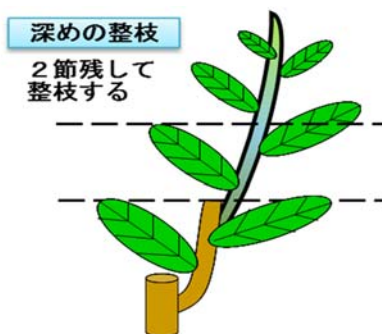
(1) 整枝の時期

- ・秋芽の生育が停止する時期に行う。
(平均気温：18～19℃以下が目安、例年10月上中旬ごろ)
- ・整枝の時期は、越冬芽の大きさが小さい場合に早く、大きい場合は遅らせる。
(芽が大きいと再萌芽のリスクが高まる)
- ・早生品種(さえみどり等)や幼木園、更新園は、比較的低温の時期まで芽が生育するため、整枝を遅らせる。
- ・秋芽が繁茂した茶園では、一度に深い位置で整枝すると日焼けを起こす場合があるため、本整枝の7～10日前に仮整枝を行う。

(2) 整枝の位置

- ・生育が良好な茶園では前回整枝面の2～3節上で(下図①)、生育が不良な茶園では軽くならず程度に整枝を行う(下図②)。
- ・一番働く葉(光合成能力の高い葉)が表面に出るように調節する。
※葉厚が厚く、色の濃い葉は光合成能力が高い。
- ・整枝位置は、茶園の端で高さを決めると低くなりがちのため、なるべく園の中央付近で決定する。

※雨が続いた時期に展開し、葉が薄くなっている場合は、秋整枝を高めにして光合成能力の高い葉が表面に出るようにする。



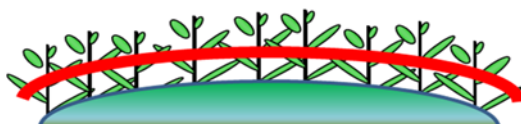
① 生育良好園、幼木園

- ・葉層が厚く、芽数をある程度増やしても芽の生育が良い。

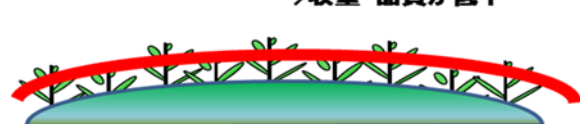


② 生育不良茶園、三番茶摘採茶園

- ・葉層の確保を優先する。
- ・無理に深い整枝を行うと、芽伸びが不良
→収量・品質が低下



(秋整枝位置)
前回整枝面より2～3節程度上げた位置
(4～5cm程度上げた位置)



(秋整枝位置)
摘採面を軽くならず程度とし、頂芽を多く残す

2) 土壌・肥料

(1) 秋肥の施用

- ・秋肥の目的は、樹勢の回復と次年度の一番茶へ向けた養分蓄積、枝条の充実を図るためである。
- ・この時期の茶樹の養分蓄積は翌年一番茶の生育に大きく影響し、一番茶新芽に含まれる秋肥窒素の割合は12%程度（下表）と重要である。

表 各施肥時期の窒素が一番茶の新芽窒素に占める割合

施用時期	摘採前年			摘採当年	
	夏肥 1	夏肥 2	秋肥	春肥	芽出し肥
一番茶 (%)	1.3	3.3	12.3	14.0	12.8

注1) [鳥山ら、2020] より一部抜粋

注2) 施肥窒素以外の窒素には、有機物等に由来する土壌窒素や樹体内に貯蔵され新芽に移行した窒素が含まれる

(2) 施用時期

- ・平坦部では9月中下旬ごろ、山間部では9月上旬ごろまでに終わるようにする。

(3) 土壌 EC 値の動き

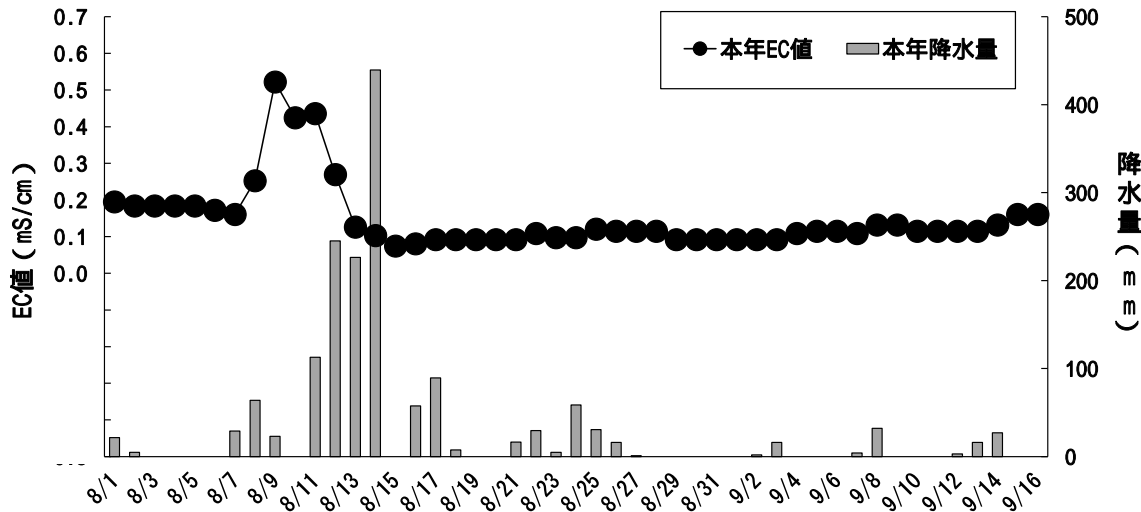


図 茶試作況調査園における土壌 EC 値の推移

注1) 本年の土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき推定した値を示す

- ・土壌 EC 値は、8月上旬に適度な降雨があり、一時上昇したものの、その後 8/11～14 の4日間で平年の年間降水量の約半分にあたる豪雨となったことから急激に低下し、その後は横ばいで推移している。

3) 病虫害防除

病虫害防除については、『令和3年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』を参照してください。

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321964/index.html>



2. 気象概況

1) これまでの気象 (2021年8月～)

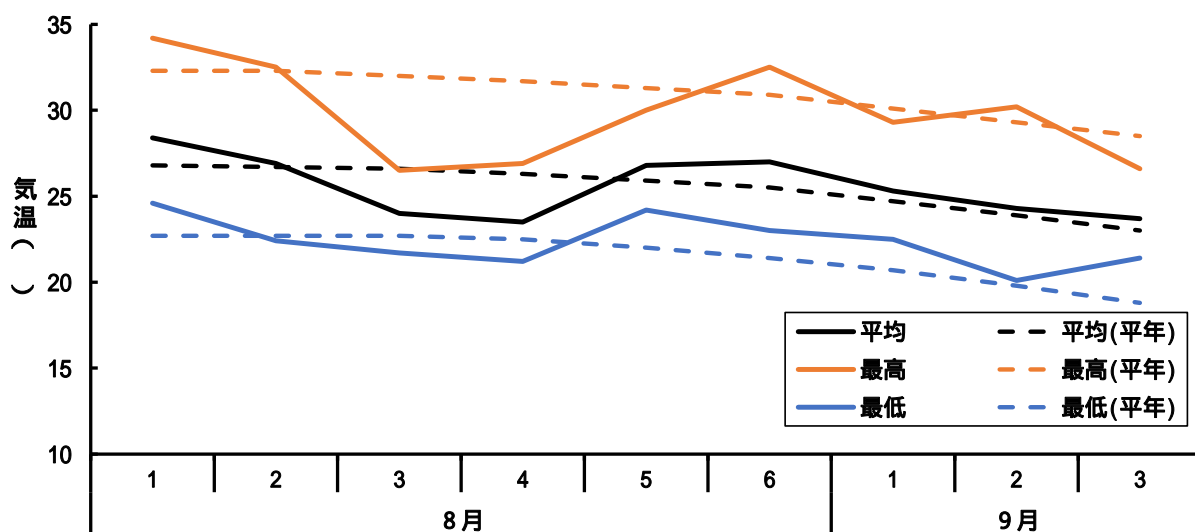


図 8月第1半旬～9月第3半旬の気温の推移 (嬉野市)

(1) 平均気温は、8月上旬は平年並、中旬は平年より低く、下旬は平年よりやや高く推移した。9月上旬は平年並みであった。

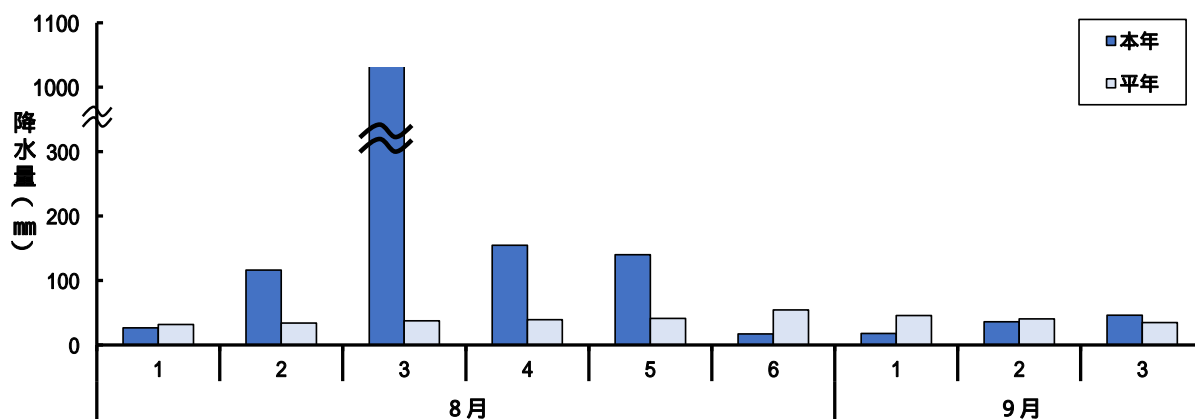


図 8月第1半旬～9月第3半旬の降水量の推移 (嬉野市)

(2) 8月の降水量は1,478mm (平年比 532%) で記録的な降水量になった。8月上・中旬は平年よりかなり多く、下旬は平年並みであった。9月上旬は平年より降水量が少なかった。

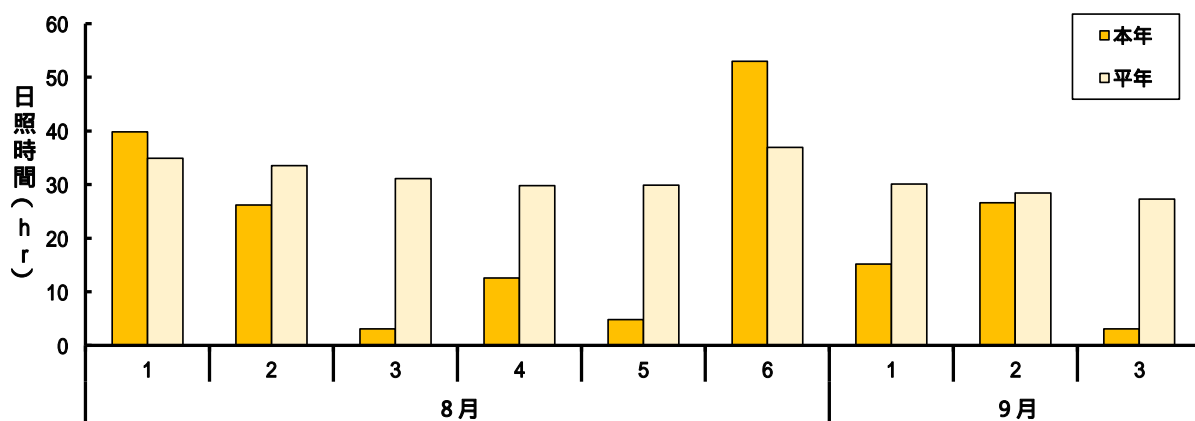


図 8月第1半旬～9月第3半旬の日照時間の推移 (嬉野市)

- (3) 8月の日照時間は139.5時間(平年比71%)で平年より少なかった。8月は、上旬は平年並み、中旬は平年よりかなり少なく、下旬は平年並みであった。9月上旬は平年より少なかった。

2) 今後の気象

■ 1か月予報(気象庁、2021年9月16日発表)

福岡管区気象台

向こう1か月の天候の見通し

九州北部地方(9月18日~10月17日)

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
九州北部地方	低10 並20 高70% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み

- (1) 暖かい空気に覆われやすいため、平均気温は高く、特に期間の前半(9/18~24)はかなり高くなる見込み。
- (2) 高気圧に覆われやすく、向こう1か月の日照時間は平年並~多い見込み。降水量は平年並~少なくなる見込み。